

No.	27
コード	RT12-a
開講形式	リモート
区分	養蜂 GAP
科目	リスク管理の考え方
講師	高安さやか
背景	我が国でも導入が進みつつある養蜂 GAP は、養蜂の規範として、これからの養蜂家を支える軸になると考えられる。
目的	養蜂 GAP の分類と必要性を理解し、リスク管理を行える養蜂家を目指す。
概要	リスク管理の考え方
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養蜂経営におけるリスク管理の重要性について理解でき、対応を行える。</li> <li>・養蜂作業時、採蜜工程、販売現場それぞれのリスクの抽出ができ、対策を講じることが出来る。</li> <li>・養蜂 GAP を導入し持続可能な養蜂を目指す。</li> </ul>
講義内容	<p>養蜂 GAP とは</p> <p>養蜂 GAP の対象・7 つの取組</p> <p>養蜂場に潜むリスク～リスクをどう抽出し防ぐか</p> <p>リスク管理表を作成</p> <p>養蜂 GAP は未来への提案書～選ばれる養蜂場への販売戦略</p> <p>養蜂 GAP は見えない安全を届けるツール</p> <p>養蜂 GAP で見えない価値を伝える価値に変える</p> <p>養蜂 GAP を通じて自分の養蜂場の価値を高めよう</p>
参考資料	「養蜂 GAP 導入の手引書」みつばち協会 HP YOUTUBE「みつばち協会」

養蜂GAPの対象

自主点検



二者点検



三者認証審査

養蜂GAP管理対象と  
適合基準2023

項目	適合基準
1. 養蜂場の構造	養蜂場の構造は、蜂の安全を確保し、作業効率を高めるように設計されている。
2. 養蜂場の設備	養蜂場の設備は、蜂の健康を維持し、作業効率を高めるように設計されている。
3. 養蜂場の衛生管理	養蜂場の衛生管理は、蜂の健康を維持し、作業効率を高めるように設計されている。
4. 養蜂場の安全管理	養蜂場の安全管理は、蜂の健康を維持し、作業効率を高めるように設計されている。
5. 養蜂場の環境管理	養蜂場の環境管理は、蜂の健康を維持し、作業効率を高めるように設計されている。
6. 養蜂場の労働管理	養蜂場の労働管理は、蜂の健康を維持し、作業効率を高めるように設計されている。
7. 養蜂場の品質管理	養蜂場の品質管理は、蜂の健康を維持し、作業効率を高めるように設計されている。



次のスライドは→養蜂GAPの対象は誰？

ニホンミツバチ ・ セイヨウミツバチ  
趣味 ・ 業 ・ 学校？